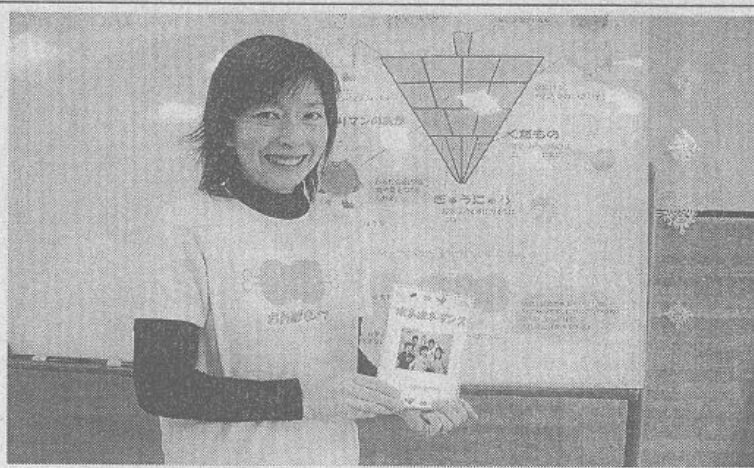


ピープル



「生活習慣病予防のために、小さいうちからバランスのとれた食事の大切さを知ってほしい」。こう話すのは、徳島県内の幼稚園や保育所で栄養バランスの基礎知識などを紹介する教室を開いている「とくしま食育推進研究会」の野間智子代表（西）＝徳島市上八万町西山、写真。

研究会は二〇〇七年六月、県内の管理栄養士ら十人で発足した。教室では、野間代表らが考案したカルシウムやビタミンの働きを覚えるダンスが

## ダンスで食育を推進

好評だ。二月にはダンスを収録したDVDを作成し、県内の幼稚園に学習用として配布した。訪問先の保育士からは「子どもたちの好き嫌いが減った」「朝食の摂取率が増えた」と、うれしい声が寄せられている。

徳島県は糖尿病死亡率が十四年連続で全国ワースト一位。「大人の食習慣を変えることは簡単ではないが、幼児への食育を進めることで不名誉な記録からの脱却に役立ちたい」と、食育推進への意気込みを語った。